

めざします企業の繁栄と社会への貢献

# ほっじん 新津



「マイナンバー研修会」 H27.7.28

## 主な目次

- ・ 新年のごあいさつ ..... 2～3  
 (法人会長・新津税務署長・税理士会支部長)
- ・ 平成27年度 講演会 要旨 ..... 4
- ・ 「税についての作文」法人会長賞受賞作文 ..... 5
- ・ 新津税務署からのお知らせ ..... 6
- ・ 会員ひろば ..... 7

## 法人会は異業種交流のパイオニアです。



## 年頭のご挨拶

公益社団法人 新津法人会  
会長 春日 忠 男

この「ほうじん新津」が発行され、皆様のお手許に届くのは2月初旬の予定と事務局より聞いてますので、「年頭のご挨拶」というタイトルはいささか間延びの感じですが、一応新年号という事ですのでご容赦願いたいと思います。改めまして、

新年おめでとうございます。

今年の正月は例年になく、雪のない穏やかな年明けで、皆様方には希望に満ちた新春を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

昨年中は会員各位をはじめ、役員の皆様、税務当局並びに税理士会の皆様方の格別のご支援ご協力を賜り、本会の諸事業が円滑に実施できました事を衷心よりお礼申し上げます。

さて今年は年明け早々に北朝鮮の水爆実験、国際テロの相次ぐ勃発と波瀾含みの幕明けとなり、国内政治経済においても、アベノミクスの第三の矢の成長戦略がいまだに漠然たるうちに新たに打ち出された、我々には理解不能の「一億総活躍」政策とやら。更には今夏に予想される衆参同時選挙、来春には消費税の再引上げ等々と難題山積。陳腐な表現ですが、国際情勢、国内政治経済共々一寸先は闇、先行きは相変わらず渾沌不透明です。

この様な厳しい内外情勢の中にあって、当法人会は、「法人会は税のオピニオンリーダーとして企業の発展を支援し、地域の振興に寄与し、国と社会の繁栄に貢献する経営者の団体である。」という法人会の理念のもとに、本年度も組織基盤確立のための会員増強、会員の納税意識の向上、税制に対する要望提言活動、各種研修事業の積極的取り組み、法人会財政基盤に大きく寄与する福利厚生制度の推進に努めて参ります。

特に法人会の財政基盤はご承知の通り、会員皆様からの「会費収入」と提携保険会社三社からの事務取扱手数料としての「助成金収入」が二本柱でございます。しかしこの「会費収入」及び「助成金収入」も数年来の会員減少等により減少傾向にあります。

そこで全国法人会連合会では1昨年より、全国的にこの助成金を「3年間で10億円増収」を目標に鋭意取り組んでいるところでございます。法人会の健全なる存続発展のため、新春早々誠に恐縮ではございますが、何卒この活動に、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びにあたり、会員企業様並びに会員皆様様の益々のご繁栄とご健勝を祈念致しまして、「年頭のご挨拶」とさせていただきます。



## 年頭のごあいさつ

新津税務署  
署長 高 津 勝

新年明けましておめでとうございます。

平成28年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

公益社団法人新津法人会会員の皆様方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、春日会長はじめ役員及び会員の皆様方には、法人会活動を通じ、税務行政全般にわたり深いご理解と多大なるご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

新津法人会におかれましては、昨年も公益性をより高めるため全法人を対象とした研修会、一般市民も対象とした講演会を開催するなど幅広い活動を展開されました。さらに、建設的な税制改正への提言、古タオルを収集し福祉施設へ寄贈するなどの社会貢献活動、税の啓発活動として主に小中学校を対象とした租税教室を行うなど、様々な事業活動にも積極的に取り組まれました。これらの活動は税務行政に携わる私どもにとって大きな支えとなっており、皆様方のご尽力に対しまして深く敬意を表する次第であります。

特にマイナンバー制度につきましては、制度の広報、周知のため、昨年は数多くの機会を設けていただきました。6月には講師に森信茂樹氏を招き、マイナンバー制度に関する講演会を開催していただきました。7月にはマイナンバー制度の実務セミナーを開催され、100名超の皆様にご参加いただいたほか、役員会の機会等にも時間を設けていただくなど、広報活動に多大なるご協力をいただき、大変感謝しております。

本年1月からは、順次、税務署へ提出いただく法定調書等に個人番号や法人番号を記載していただくこととなります。これにより、法定調書の名寄せや申告書の突合がより正確かつ効率的に行えるようになりますので、適正・公平な課税に資するものと考えております。また、社会保障給付の申請や、国税の申告の際に添付が義務付けられている書類の一部が添付不要になるなど、国民の皆様への利便性も向上するようになります。制度の定着に向け、更なるご理解、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

まもなく平成27年分の所得税及び消費税の確定申告が始まります。確定申告期間中、申告会場は大変混雑するため、税務署では国税庁ホームページ「確定申告書作成コーナー」を利用した申告を推奨しております。こちらを利用していただく、申告会場へ出向くことなくご自宅確定申告書を作成し、印刷した申告書を郵送にて税務署に提出することも可能です。会員企業の従業員の皆様にも、ぜひこちらのご利用をお勧めいたします。

結びにあたり、平成28年が公益社団法人新津法人会にとりまして良き年となりますよう、また、役員、会員の皆様のご健勝、ご繁栄を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。



## 新年のごあいさつ

関東信越税理士会  
新津支部長 吉野 徹

新年明けましておめでとうございます。公益社団法人新津法人会会員の皆様におかれましては御健勝にて、新年をお迎えのことと御喜び申し上げます。

昨年は新津法人会女性部20周年記念式典とたなばたコンサートにお招きありがとうございました。なかでも、たなばたコンサートに出演されたくちぶえ奏者の分山貴美子さんのくちぶえの演奏がとてもすばらしく、いまでもその会場で教わった口笛を練習しておりますが、なかなか人前でその演奏を披露するには遠く及ばず自分の才能のなさを痛感している次第であります。

さて、本年はマイナンバー制度の導入最初の年であり、皆様方におかれましても、マイナンバーの取り扱いに大変苦慮していると思われまします。さらに消費税に目を移すと、いよいよ平成29年4月1日より消費税の税率は改定され、10パーセントの時代が到来しようとしております。また10パーセント導入時における軽減税率について議論も大詰めとなり、ゆくゆくは消費税の控除方式をインボイス方式の導入も検討され始めました。相続税についても基礎控除が引き下げられたため、申告件数及び相談件数も増えているとのこと。新潟県の景気傾向をみますと、日本銀行新潟支店の景気動向指数は消費税の駆け込み需要にともない上昇の傾向があるとの発表となり、安倍ノミクスの効果もあり本県の中小企業においても好景気を見込める予想であります。さらにTPPの基本同意により農業分野、さまざまな工業分野においても関税の撤廃による影響のいい部分、悪い部分と徐々に明らかになっていくとおもわれます。また世界経済に目を移しますと、新年早々の株式市場においては、中国の株価の乱高下のあおりをうけ、各証券取引所の株価もつられるようにうごいており、また世界経済においては対イランと中東諸国との国交断絶やら、中国の南沙諸島の埋め立てによるベトナムとの緊張も高まっており原油の相場について行先き不透明の年になりそうな感じであります。

本年平成28年の干支は60年ぶりの丙申(ひのえさる)とのこと。干支はよく樹木にたとえられます。丙の前年は乙で、乙は自由に伸びることができず、曲がっている状態で、その翌年になりちょっと成長して形が明らかになっていく年だそうです。申にいたっては樹木の果物が熟して固まってしまう様子という意味だそうです。また申年は悪いことが申(さる)病が申(さる)といわれとても縁起のいい年とのこと。このことから、本年の経済界にいたっては、いままで、蓄積されてきた技術が開花し経済においては好調の年と思われまします。

税理士会においては、マイナンバーをはじめ、消費税、法人税、相続税など様々な税法の改正にたいして的確なアドバイスをして参りたいと思っておりますので、お気軽にお声をかけていただければ幸いです。結びにあたり、この新しい年が公益社団法人新津法人会及び会員の皆様にとってご繁栄の年となりますように、祈念申し上げます。新年の御挨拶といたします。

## 平成28年度税制改正スローガン

- 厳しい財政状況を踏まえ、  
国・地方とも行財政改革の徹底を！
- 中小企業の力強い成長なくして、  
真の経済再生なし！
- 法人の実効税率を早期に20%台に引き下げ、  
軽減税率15%本則化の実現を！
- 中小企業の円滑な事業承継のために、  
欧州並みの本格的な税制の創設を！

## 要旨

本年の「税制改正に関する提言」は、2020年度の基礎的財政収支黒字化という財政健全化目標達成に向けて、「骨太の方針2015」で初めて政府の財政健全化計画が示されたため、これを重要テーマの一つとして位置付けました。そして、この計画の甘さを指摘し厳しい注文を付けているのが大きな特徴です。なぜなら、持続可能な社会保障制度の確立も中長期の持続的成長もこれにかかっていると考えるからです。

安倍晋三政権の経済政策「アベノミクス」については、企業収益や所得・雇用の改善などで一定の効果をあげていると評価しつつも、日本経済を好循環軌道に乗せるには依然として課題が山積しているとの基本認識を示しています。その一つはデフレ脱却ですが、日銀の強力な「異次元緩和」実施にもかかわらず、インフレ目標の達成時期は先送りされてしまいました。

成長戦略にしても、着手した法人実効税率の引き下げでは目標とする「20%台」に向けた道筋が実現時期を含めて示されていません。成長戦略の中核を担うべき規制改革でも昨年に比べ踏み込み不足が目立っています。提言ではこうした点に強い懸念を示すとともに、大胆な取り組みを求めています。

アベノミクス効果が中小企業には十分浸透していないことも改めて強調しています。地域経済と雇用を担う中小企業が活性化しなければ日本経済の真の再生はできないと考えるからで、地方創生戦略を絡めた対策や税制上の対応が必要であることを指摘しました。



## 法政大学教授・TVコメンテーター・ジャーナリスト 萩谷 順氏

### 「日本の経済と政局のゆくえ」

平成27年11月17日(火) 新津の割烹「新森」において、法政大学教授及びジャーナリストの萩谷順先生を迎え、税を考える週間の記念講演で、「日本の経済と政局のゆくえ」と題して講演会を開催しました。

講演内容及び要旨は以下のとおりでありました。

まず、最初に新津という地名について、どこかで見たことがある名前だと感じていた、そうだとJRの車両についている。「新津は国鉄の町」だと思い出しましたというくだりから始まり、政局の話が始まりました。

現在の安倍政権は一強多弱で無風状態、驚くほどの無風状態である。安倍内閣以前は小泉政権を除き毎年首相が替わる状態であったものが、現在は平穏な状態である。

日本の政治の中で、退陣した首相がカムバックしたものは戦後の吉田茂くらいで稀である。いかにしてカムバックできたのか等々話され、菅官房長官との結びつきが大きかった。安倍第1次内閣から現在第3次内閣まで当初は嫌いだったが現在は評価している。

安全保障問題が中国の台頭により顕著化してきた。安倍首相が日米安全保障論者でもあったため、特定機密保護法・安全保障関連法の制定へとつながった。安倍首相はまがりなりにも法を制定したので、憲法改正・9条改正は当面ない。経済優先で進めていく。

安倍首相は、アベノミクスで先進国病を克服できると考えている。国民一人一人が付加価値を上げ、生産性を上げれば可能である。「女性の活躍を求めていく」「TPPの推進」「退場する産業から成長産業へ人材移動」等、地方の活性化を期待している。

最後に今後の政局について感想を述べた。国会論戦、TPP論議、参議院選挙と続く、特に官房長官はW選挙と言っているが首相は考えていない。来年は消費税の引き上げだが安倍内閣は経済に左右される内閣で、増税は恐ろしい、アベノミクスもブレーキがかかるので首相は苦慮している。ただ、政局は一寸先は闇なため今後注意していきたい。



## 元NHKエグゼクティブアナウンサー 宮田 修氏

### 「アナウンサーが神職になって」

平成27年12月3日(木)、新津の割烹「新森」において、元NHKエグゼクティブアナウンサーの宮田修氏より「アナウンサーが神職となって」と題して記念講演会を開催しました。

講演内容及び要旨は以下のとおりでありました。

最初はNHKのアナウンサー時代の話から始まり、NHKのアナウンサーの仕事をしていると、一般の人の目が気になり道路の横断も横断歩道以外は道路横断をしなかったこと、人に会うときは常に笑顔でいること、朝のニュースを担当していたとき遅刻は絶対できないので時計と時間を常に気にしていたこと等話され、相当なストレスが溜まっていると感じ退職後はのんびりと過ごしたいと思っていた。

そこで、友人に頼んでセカンドハウスを探してもらっていたら、安価で広々とした古民家を紹介され喜んでいたら、隣の住人(大家)が神主であり、高齢で子供がなく跡継ぎを考えていたところ、宮田氏に白羽の矢を立てたのであった。

神主なんて考えてもいなかったのが断りを入れたが、どうしてもといわれ、大家でもあり、つい了解をしてしまい、資格を通信教育で取り神主となった。

神主の教えは、日本的で伝統的な考え方で、日本人は昔から生まれると男0.5人、女0.5人で結婚して初めて1.0人(一人前)となると考えており、西洋は生まれると1.0人の人格で生きていくと教え日本と異なると考えている。

また、日本人は農耕民族で人々の「和」を重んじ、自分の仕事、居場所等を子供のころより教えられてきた。等々話された。

最後に「仲今を生きる」という言葉を覚えてほしいと言われた。今の自分があるのは両親があるため、父の親、母の親があったため自分がある、ということである、そして自分は次の代へ後を継がなくてはいけないという教えである。だから、同性婚はダメ、子供ができない!と最後の締めとされた。